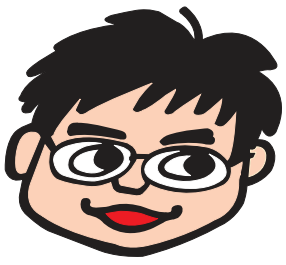
鈴鹿市議会議員



議会・議員活動だより　2019年 3月

中西だいすけ

発行者：中西大輔 鈴鹿市南若松町296-2 TEL&FAX：368-1110

http://www.daisuke-nakanishi.net/　Eメール daisuke.nakanishi@gmail.com

子ども政策に力を入れます

子ども政策は、重要度を増しています。《子ども》という言葉からは、小学校卒業くらいまでのイメージがちですが、選挙権が付与される18歳まで、子どもとして考えられます。

そのとき、学力向上だけでなく、子どもの育ちをどう支えるのか、福祉面や経済面も重要です。また、政策面などでの意思形成に、若い世代の参画を増やす、広げることが大切です。

三期目はこれらに地域づくりや地域共生社会といった考えを重ねて、行政に提案をしています

子ども

・子ども条例の制定
・学校をプラットホームに

小学校を子どもの育ちを支えるためのプラットホームとして、福祉と教育面から活用できるよう取り組みます。

小学校をプラットホームに

放課後の学校を子どもの居場所に

小学校をプラットホーム、子ども政策の基礎にして、放課後どの子でもいられるようにして、学校が子どもたちにとって、ぶ厚いセーフティネットになる政策を実現するように取り組みます。

そうすれば、子どもたちにとって学校が愛着形成の場となり、精神面での安定が期待できます。また、福祉的な支援が必要な子に、早期に対応することが期待できます。

これらと、PTAや学校運営協議会（地域づくり）活動が連携し、放課後の学習支援なども重なれば、子どもの貧困対策にもなります。

保護者の負担も軽くなるはずです

このように、学校にどの子でもいられるようになれば、学童保育の負担が軽くなるでしょうし、いろいろな家庭事情にも柔軟に対応できるようになると考えます。つまり、保護者の負担も軽減されると考えられます。

税の恩恵は公平に 財源ねん出は可能

そして、税の使い方についても、公平なしくみになります。今よりも予算は必要になるでしょうが、行財政改革などを行うことで、ねん出することが可能です。

このように、子どもたちのためのぶ厚いセーフティネットを、小学校につくることができれば、子どもたちにとって、何よりもプラスになるでしょう。このような政策を、鈴鹿市は積極的に進め、税も投入すべきです。

そして、それを通じて鈴鹿市の魅力は、「子どもが豊かに育つまち」として大きくなり、地域の活性化も進むはずです。次に時代に向け、力を入れたい政策です。

子ども条例の制定を

子ども政策を確実に進めるため

子ども政策を、政治を担う人がだれに代わっても進めるためには、まちの法律になる“条例”をつくり、それに沿って施策を進めることが重要です。子ども条例の制定に取り組みます。子どもの権利条約をもとにして、条例を策定していくことを考えます。

次の時代のために若い世代の参画を

ポイントにしたいことは、“参画”の部分です。人口減少や第四次産業革命といわれる社会の変化、気候変動など大規模災害への対応なども含め、将来に向けて、若い世代の社会参画が重要です。

これまでも総合計画への参画、公共施設マネジメントへの参画機会を提案していますが、それを確実にします。

この他では、条例を制定することで、政策全体の中での位置づけを高めることと、子どもの支援政策の充実につなげたいと考えています。

■一般質問（子ども関係抜粋）■

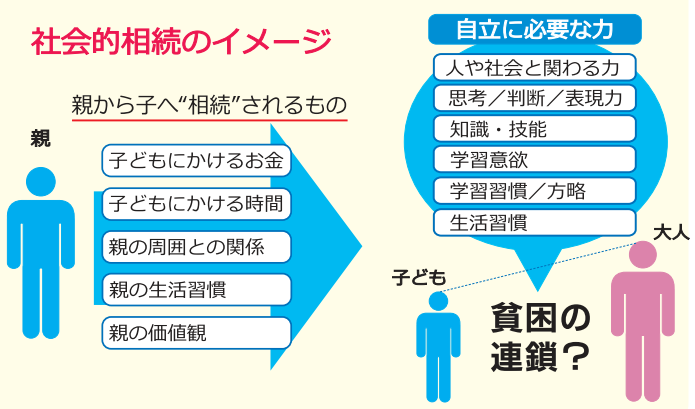
2015年
9月「シティズンシップ教育」
2016年
6月「愛着を育む教育について」
12月「学校施設維持更新の方針」
2017年
9月「地域共生社会への取り組み」
12月「子ども・若者の参加の推進」
2018年
3月「子ども食堂」
6月「学童保育」
9月「学校等への断熱等の対策」
12月「地域政策」

子ども政策について、３期目の２年めに、地域福祉委員会の委員長に就任、子どもの貧困を取り上げ、委員会の足立区の取り組みを学びました。また、全国自治体シンポジウム「地方自治と子供施策」に、２年続けて参加し、子ども政策の深さを実感しています。

一般質問では、学びから得た知見を活かして行政に提案をしてきました。基本は、小学校を子ども施策の拠点として、地域づくりや学校運営協議会と連携することです。そうして、人、モノ、お金などの資源を集中することが大切です。

ですが、まだこの流れは、市の中で固まりきっていません。これまでも市に働きかけていますし、その点を、総合計画の後期計画に位置付けるように取り組んでいます。また、選挙直前の議会でも、一般質問でしっかり訴えていきます。

この二つを軸にして、学力に関係する取組、療育などの課題、その他の子どもに関係する施策に取り組みます。直接でもけっこうですし、メールなどでお気軽にいろいろとお話をお聞かせください。

子どもの貧困を鈴鹿からなくそう！

「子どもの貧困」は
「子どもが心も身体も豊かに成長できない状態」
です。
心も身体も豊かに成長できる街に鈴鹿をしましょう